

# 緑ヶ丘通信

## 生徒会総会が開かれました。

5月10日(火)5・6校時に、体育館で前期生徒会総会が行われました。

はじめに、生徒会長のRS君が「年に2回の大切な総会です。みなさん真剣に参加しましょう。」とあいさつしました。

校長先生の話の後、議事にうつり、今年度の生徒会本部・専門委員会・部活動の活動内容についてや、生徒会会計の決算報告(昨年度)・予算案(今年度)などについて話し合いが行われました。

質問や意見では、「文化祭の準備や活動時間について」「服装について」「フォスタープランについて」などの他、「教室の放射線量の公表について」や「エコをめざして」などについても話し合われました。



## 気合いが入る部活動

前期生徒会総会では、各部活動が目標を発表しました。県中大会出場とか、県大会出場を目標に掲げる運動部も多く、6月7日・8日に行われる予定の中体連市総合体育大会に向けて、練習に気合いが入っていました。

また、陸上部は、5月31日に大会があり、残すところあと3週間足らずとなりました。

今年は放射能の影響で、校庭での練習が始

まったのは5月からですし、屋外での活動時間も1日3時間以内に制限されてはいますが、限られた条件の中で、精一杯がんばって欲しいと思います。



## 気になる放射線量について

5月9日に行われたPTA専門委員会でも、何人かの保護者の方から、「このような状況下で、屋外での練習をさせるのは、正直心配です。」という話を聞きました。文部科学省では、校庭での利用基準を20mSV(ミリシーベルト)/年としましたが、その後、小佐古敏荘氏(東京大 大学院教授)がこの値に抗議して、内閣官房参与を辞任するなどしたこともあり、いったいどれくらいなら安全なのか?と疑心暗鬼になってしまいます。

福島県放射線健康リスク管理アドバイザーの神谷研二氏(原爆放射線医科学研究所長)や山下俊一氏(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長)の話では、「現在の状況は心配ないレベル」ということであり、専門家によっても違うので、私達もとまどっています。ただ、被曝量が少ないにこしたことはありません。

郡山市は、値の高い学校の校庭の表土を削り、さらに屋外活動を1日3時間以内とするなど、被曝量をできるだけ少なくしようと努めています。

幸いなことに、緑ヶ丘中学校は中でもかなり低いレベルにあります。

5月14日(土)朝6:30からPTA役員さんの協力を得て、校舎の除染作業(窓やベランダ、犬走りなどについている放射性物質を洗い流す作業)を行います。